

# 減らそう犯罪通信

## 平成21年4月号

発行・編集

広島県警察本部  
減らそう犯罪推進室  
〒730-8507  
広島市中区基町9-42  
TEL 082(228)0110  
FAX 082(222)7902

安全・安心特別対策班を新設(平成21年4月1日)

子どもや女性に対する性犯罪等の取締り強化のため、県警察本部減らそう犯罪推進室に「安全・安心特別対策班」を新設しました。

班の体制は、女性警察官3人を含む13人で、性犯罪等の前兆と認められる「声かけ」「つきまとい」などについて、行為者を特定して検挙、又は警告等の先制・予防的活動を行い、重大犯罪に至る前の段階で未然防止を行います。また、行為者の検挙・警告等を講じた際における解決情報等の発信も任務とし、県民の皆さまの不安感を取り除き、体感治安の向上を目指します。



発足式の模様

「広島県交通安全大会」を開催

春の交通安全期間中となる4月9日(金)、広島市中区加古町のアステールプラザで「平成21年度広島県交通安全大会」が行われました。

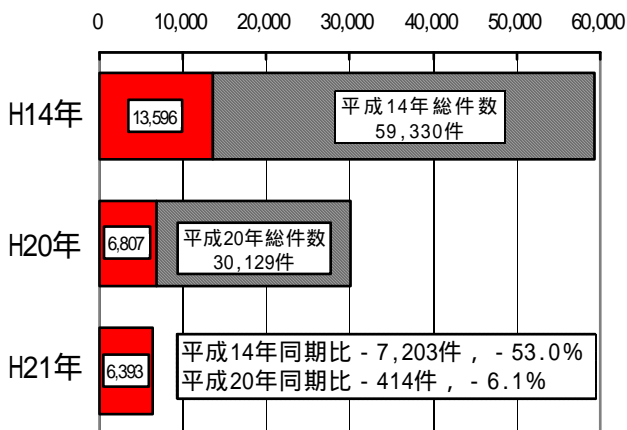
今年の年間スローガンは「渡れそう 今なら行けるは もう危険」で、開会にあたり主催者を代表して、藤田雄山県知事が「悲惨な交通事故を一件でもなくすよう、取組みを進めたい」と挨拶し、また、岩崎和彦警察本部長は「地域の実態に応じたきめ細やかな対策を推進する」と今後の取組みについて強調しました。

本大会は2部構成で行われ、第1部では、交通安全功労者・団体、優良運転者・事業所に対する県知事表彰や中学生による交通安全作文の発表、県交通安全協会副会長による大会宣言、第2部では、お笑い芸人の「西川のりお」氏による講演、県警察音楽隊による吹奏楽演奏等が行われ大会を盛り上げました。



表彰の模様

### 県内の刑法犯認知状況(3月末現在)



### 県内の交通事故発生状況

区分	平成21年	平成20年	前年対比	
	3月末	3月末	増減数	増減率
人傷事故数	3,966件	4,120件	154件	3.7%
死者数	37人	31人	6人	19.4%
負傷者数	4,979人	5,157人	178人	3.5%
高齢者 事故件数 (1当+2当)	1,100件	1,072件	28件	2.6%
高齢者 死者数	16人	10人	6人	60.0%

死者数に占める高齢者の割合  
43.2% (全国第11位, 全国平均50.9%)

運動目標 ~ 誰もが「安全・安心」を実感できる広島県の実現

行動目標 ~ 今後5年(平成18年~22年)でピーク時の半減を目指す

### 「安全・安心情報テレホン」の運用を開始

県民の皆さまに自主防衛意識の向上を図っていただくため、県警察では、電話という最も普及している通信手段により、だれもが“いつでも、どこでも”タイムリーな犯罪情報や地域安全情報を入手できる「安全・安心情報テレホン」を開設しました。

内容は、「県内で発生した犯罪と防止策」「今後発生が予想される犯罪と防止策」「交通事故の傾向とその注意点」「衆目を寄せる事件の検挙情報など不安感解消につながる情報」「緊急情報(特異事案発生時)」「その他県民の安心感を醸成する情報」などで、順次提供します。

- ・ 電話番号  
082 - 223 - 3746 (語呂合わせ「<sup>2</sup>人<sup>2</sup>脚<sup>3</sup>で<sup>3</sup>み<sup>7</sup>な<sup>4</sup>知<sup>6</sup>ろう」)
- ・ 運用開始日  
平成21年4月20日(月)から(24時間利用可能)  
内容については、概ね2週間で更新する予定です。

### 警察署の管轄区域の変更

木江警察署の廃止に伴い、平成21年4月1日から、豊田郡大崎上島町及び呉市 豊浜町・豊町を管轄する警察署が次のとおり変更されました。

今後も、地域の安全・安心ステーションとして、以前と変わらない警察行政を推進していくこととしておりますので、ご協力をお願いします。

新しい管轄(関係地域の交番、駐在所)

- ・ 豊田郡大崎上島町～竹原警察署  
木江交番(大崎上島分庁舎内)、  
鯉崎駐在所、白水駐在所、大崎駐在所
- ・ 呉市豊浜町、豊町～広警察署  
豊浜駐在所、豊駐在所



分庁舎開所式の模様  
(H21.4.1, 旧木江署庁舎)

### 「かぎかけ定着モデル事業」の実施結果

～ 自転車盗難被害が減少、かぎかけ意識は向上 ～

自転車盗被害者の約3割を占める高校生を対象に、自転車のかぎかけを定着させ、増加傾向にある自転車盗を抑止するため、昨年7月から12月までの間、広島市内の高校10校(県指定8校、広島市指定2校)をモデル校に指定し、「防犯意識の醸成」「駅駐輪場等における環境整理活動」「校内駐輪場における施錠点検」を行いました。

その結果、広島市の自転車盗の認知件数は、前年比で11.2%(県内は、8.8%)減少し、事業開始前の6月と開始後7～12月の月平均を比較すると、下表のとおり成果が見受けられました。この結果を受け、本年度も広島市と東広島市においてモデル校を選定し本事業を行うこととしております。

自転車盗の月別認知状況(平成20年)

区分	6月(件)	7～12月 平均(件)	増減率(%)
広島県内	601	626.7	4.3
広島市内	298	311.8	4.6
モデル校	71	55.3	-22.1

